



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2015年2月5日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、2月16日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2014年度通年に1株当たり事業純利益⁽¹⁾が7.3%成長(CERベース)

2014年度通年にさまざまな事業部門にわたり好業績を達成

- グループの売上高⁽²⁾は、4.9%増(調整前 2.5%増)の 337 億 7,000 万ユーロ
- 成長基盤⁽³⁾の売上高は 10.7%増の 258 億 200 万ユーロ
- 医薬品事業部門は、糖尿病とジェンザイムに牽引され、4.4%増
- ワクチンは 7.2%増、動物用医薬品は 6.7%増
- 新興市場⁽⁴⁾の売上高は 9.3%増

2014年度通年に堅調な業績を達成

- 事業純利益⁽¹⁾は、6.7%増の 68 億 4,700 万ユーロ(調整前 2.4%増)
- 1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、為替レート変動の影響を除き 7.3%増の 5.20 ユーロ
- フリーキャッシュフローは 12.3%増
- 取締役会は 2.85 ユーロの配当を提案し、21年連続で増配

複数の新製品発売に関する最近の進展状況

- 高コレステロール血症の治療薬として、Praluent™の申請が米国食品医薬品局(FDA)および欧州医薬品庁(EMA)に受理される
- アジアの複数の流行国でデング熱ワクチンの申請を順次開始
- Lemtrada®が米国で再発性多発性硬化症の治療薬として承認される
- ゴーシェ病 1型成人患者のための唯一の経口治療薬である Cerdelga®が EU で承認される
- 新しい吸入用速効型インスリン治療薬 Afrezza®を米国で発売

研究開発パイプラインの新たな進展

- Revusiran が家族性アミロイド心筋症の治療薬として第 III 相開発段階に入る
- dupilumab がアトピー性皮膚炎において FDA より画期的治療薬指定を取得、好酸球性食道炎において第 II 相試験を開始

2015年度通年の財務見通し

- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、米国の糖尿病、新製品発売、開発後期段階のパイプラインを考慮し、2015年度通年の 1株当たり事業純利益⁽¹⁾は、前年度並みか微増(為替レート変動の影響を除く)と予想されます⁽⁵⁾。
- 2014年12月31日の為替レートをこの2015年度通年の見通しに適用すると、さらに 4%~5%の為替レート変動のプラス影響が 2015年度通年の 1株当たり事業純利益に生じると予測されます。

(1)財務指標の定義は付録 10 を参照 (2)特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(定義は付録 10 を参照)
 (3) 2 ページを参照 (4)7 ページを参照 (5)2014 年度の 1株当たり事業純利益は 5.20 ユーロ

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペランティタワー

www.sanofi.co.jp

サノフィ会長兼最高経営責任者(CEO)のセルジュ・ヴァンベルグのコメント:

「2014 年度通年に堅調な業績を達成することができ、嬉しく思います。グループは、良好な財務実績を上げ、新薬の発売に関して大きく進展しました。2015 年には、複数の新しい医薬品およびワクチンを発売するにあたり、業務の卓越性に重点を置いて取り組んでいきます。また、研究開発プロジェクトにも投資し、可能性を最大化します。革新的なパイプラインと持続可能な多角的事業を組み合わせることによって、強固な基盤を築き、長期的な株主価値を生み出していきます」

2014年度第4四半期および通年の業績

	2014 年度 第 4 四半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)
純売上高	€9,072 m	+7.3%	+4.6%	€33,770 m	+2.5%	+4.9%
事業純利益 ⁽¹⁾	€1,828 m	+0.8%	-0.3%	€6,847 m	+2.4%	+6.7%
1 株当たり事業純利益 ⁽¹⁾	€1.39	+1.5%	-	€5.20	+3.0%	+7.3%

当グループの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益⁽¹⁾は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です。2014 年度通年の連結損益計算書については付録 4 に、事業純利益から連結純利益への調整については付録 3 に記載しています。2014 年度通年の連結純利益は、前年同期の 37 億 1,600 万ユーロに対し、43 億 9,000 万ユーロでした。2014 年度通年の連結 1 株当たり純利益は、前年同期の 2.81 ユーロに対し、3.34 ユーロでした。2014 年度第 4 四半期の連結 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.80 ユーロに対し、1.02 ユーロでした。

2014年度第4四半期および通年の売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高伸長データは、為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁾算出しています。

2014 年度第 4 四半期における売上高は、前年同期比(調整前)7.3%増の 90 億 7,200 万ユーロとなりました。為替レートの変動(主にドル高)により、2.7 ポイントのプラスの影響を受けました。2014 年度通年の売上高は、前年同期比(調整前)2.5%増の 337 億 7,000 万ユーロとなりました。為替レートの変動(日本円、ロシア・ルーブル、ブラジル・リアル、アルゼンチン・ペソをはじめとする他の通貨に対するユーロ高)により、2.4 ポイントのマイナスの影響を受けました。

成長基盤

2014 年度第 4 四半期におけるグループの成長基盤の売上高は、糖尿病(11.0%増)、ワクチン(16.2%増)、ジェンザイム(22.2%増)、および動物用医薬品(11.5%増)に牽引され、10.3%増の 70 億 100 万ユーロとなりました。第 4 四半期にグループの成長基盤が連結売上高全体に占める割合は、前年同期の 72.9%から 77.2%に増加しました。2014 年度通年における成長基盤の売上高は、10.7%増の 258 億 200 万ユーロであり、連結売上高全体に占める割合は、前年同期の 72.5%から 76.4%に増加しました。

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
糖尿病	2,024	+11.0%	7,273	+12.1%
ワクチン	1,177	+16.2%	3,974	+7.2%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	817	+14.0%	3,337	+16.5%
ジェンザイム	746	+22.2%	2,604	+24.3%
動物用医薬品	507	+11.5%	2,076	+6.7%
その他の革新的製品 ^(a)	209	+5.9%	815	+14.7%
新興市場 ^(b)	3,126	+7.9%	11,347	+9.3% ^(c)

⁽¹⁾ 財務指標の定義は付録 10 を参照

—糖尿病、ワクチン、CHC、動物 用医薬品、ジェンザイム、その他の 革新的製品	1,605	+16.9%	5,624	+15.3%
—その他の製品	1,521	-0.3%	5,723	+4.0%
成長基盤合計	7,001	+10.3%	25,802	+10.7%

- (a) 上記のその他の成長基盤に属さない 2009 年以降に発売された製品、すなわち Multaq[®]、Jevtana[®] (ジェブタナ)、Zaltrap[®]、Auvi-Q[™]、および Mozobil[®]を含む
(b) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国
(c) ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、2014 年度通年の新興市場の売上高は 6.5%増

医薬品

2014 年度第 4 四半期における医薬品事業の売上高は、米国および新興市場に牽引され、2.6%増の 73 億 8,800 万ユーロとなりました。2014 年度通年における医薬品事業の売上高は、4.4%増の 277 億 2,000 万ユーロとなりました。

糖尿病領域

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Lantus [®] (ランタス)	1,772	+10.8%	6,344	+12.1%
Amaryl [®] (アマリール)	91	-1.1%	360	+0.3%
Apidra [®] (アピドラ)	96	+16.0%	336	+19.1%
Insuman [®]	38	+18.2%	137	+6.8%
BGM(血糖測定器)	18	+30.8%	64	+33.3%
Lyxumia [®] (リクスマリア)	8	+80.0%	27	+211.1%
糖尿病領域合計	2,024	+11.0%	7,273	+12.1%

(1) 財務指標の定義は付録 10 を参照

第 4 四半期における糖尿病領域の売上高は、米国、新興市場、西欧諸国における Lantus[®](ランタス)の 2 桁成長に牽引され、11.0%増の 20 億 2,400 万ユーロとなりました。通年における糖尿病領域の売上高は、12.1%増の 72 億 7,300 万ユーロでした。

第 4 四半期における Lantus[®](ランタス)の売上高は、10.8%増の 17 億 7,200 万ユーロとなりました。第 4 四半期における米国での Lantus[®](ランタス)の売上高は、11 月上旬の卸購入価格(WAC)上昇に支えられ、10.1%増の 11 億 9,700 万ユーロとなりました。米国において、Lantus[®] SoloSTAR[®](ランタス注ソロスター)が Lantus[®](ランタス)の売上高全体に占める割合は、前年同期の 58.0%に対し、61.7%となりました。第 4 四半期における西欧諸国での Lantus[®](ランタス)の売上高は、ドイツ、フランス、イタリアに牽引され、11.3%増の 2 億 2,800 万ユーロとなりました。第 4 四半期における新興市場での Lantus[®](ランタス)の売上高は、ロシア、中国、トルコ、中東での好業績を反映し、17.1%増の 2 億 7,000 万ユーロとなりました。通年における Lantus[®](ランタス)の売上高は、7.3%の価格影響(主に米国)と 4.8%の数量影響を反映し、12.1%増の 63 億 4,400 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における Amaryl[®](アマリール)の売上高は、新興市場で 6.1%増の 7,300 万ユーロとなったものの、1.1%減の 9,100 万ユーロとなりました。通年における Amaryl[®](アマリール)の売上高は、前年同期並みの 3 億 6,000 万ユーロでした。

第 4 四半期における Apidra[®](アピドラ)の売上高は、16.0%増の 9,600 万ユーロとなりました。同製品は、すべての地域で 2 桁成長を記録しました。米国での売上高は 11.8%増の 4,100 万ユーロ、西欧諸国での売上高は 13.0%増の 2,500 万ユーロでした。新興市場での同製品の売上高は、29.4%増の 2,100 万ユーロとなりました。2014 年度通年における Apidra[®](アピドラ)の売上高は、19.1%増の 3 億 3,600 万ユーロとなりました。

Lyxumia[®](リクスマリア)の第 4 四半期の売上高は 800 万ユーロ、通年の売上高は 2,700 万ユーロでした。

Afrezza[®](新型吸入用速効型インスリン治療薬:MannKind 社と世界的な独占的ライセンス契約を締結)は、2015 年 2 月初頭に米国で発売されました。

コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	74	+75.0%*	350	+37.1%*
Doliprane [®]	78	+13.2%	310	+7.2%
Essentiale [®]	61	+15.0%**	235	+27.1%**
Enterogermina [®]	34	+13.3%	156	+24.6%
Nasacort [®]	23	-	114	-
No Spa [®]	25	-3.2%	109	+6.0%
Lactacyd [®] (ラクタシード)	23	-22.2%	104	+5.7%
Maalox [®]	25	+4.0%	98	+9.6%
Dorflex [®]	22	-4.3%	90	+6.5%
その他の CHC 製品	452	+8.4%	1,771	+8.5%
コンシューマー・ヘルスケア合計	817	+14.0%***	3,337	+16.5%***

*カテゴリー変更を除外すると、2014 年度第 4 四半期は 1.4%増、2014 年度通年は 4.5%減

**カテゴリー変更を除外すると、2014 年度第 4 四半期は 1.4%減、2014 年度通年は 6.0%増

***カテゴリー変更を除外すると、2014 年度第 4 四半期は 4.2%増、2014 年度通年は 6.8%増

第 4 四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア(CHC)製品の売上高は、14.0%増の 8 億 1,700 万ユーロとなりました。前年同期に処方薬として計上されていた複数の製品(売上高の合計 6,800 万ユーロ)がコンシューマー・ヘルスケア製品に変更されました。このカテゴリー変更を除外すると、コンシューマー・ヘルスケアの売上高は、米国での Nasacort[®]のスイッチ OTC 薬の成功と Doliprane[®]および Enterogermina[®]の好業績に牽引され、4.2%増となりました。2014 年 2 月に米国で OTC 医薬品として提供が開始された Nasacort[®] Allergy 24HR 点鼻薬の第 4 四半期における米国での売上高は、1,700 万ユーロでした。通年におけるコンシューマー・ヘルスケアの売上高は、16.5%増の 33 億 3,700 万ユーロでした。上記のカテゴリー変更(2013 年度通年の 2 億 7,300 万ユーロ)を除くと、CHC の売上高は、6.8%増でした。

ジェンザイム

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Cerezyme [®] (セレザイム)	197	+8.3%	715	+8.3%
Myozyme [®] (マイオザイム)/ Lumizyme [®]	150	+11.5%	542	+9.8%
Fabrazyme [®] (ファブラザイム)	123	+14.4%	460	+23.0%
Aldurazyme [®] (アウドラザイム)	45	+4.7%	172	+11.3%
Cerdelga [®]	4	-	4	-
希少疾患合計	584	+9.7%	2,137	+11.2%
Aubagio [®]	146	+98.6%	433	+160.8%
Lemtrada [®]	16	-	34	-
多発性硬化症合計	162	+114.1%	467	+178.0%
ジェンザイム合計	746	+22.2%	2,604	+24.3%

第 4 四半期におけるジェンザイムの売上高は、Aubagio[®]の業績によって牽引され、22.2%増の 7 億 4,600 万ユーロとなりました。ジェンザイムの売上高は、米国で 28.6%増の 2 億 9,900 万ユーロ、西欧諸国で 16.3%増の 2 億 2,900 万ユーロ、新興市場で 22.3%増の 1 億 5,400 万ユーロ、その他の地域で 17.9%増の 6,400 万ユーロとなりました。2014 年度通年におけるジェンザイムの売上高は、24.3%増の 26 億 400 万ユーロとなりました。

希少疾患製品の第 4 四半期の売上高は 9.7%増の 5 億 8,400 万ユーロ、通年の売上高は 11.2%増の 21 億 3,700 万ユーロでした。

第 4 四半期における Cerezyme[®](セレザイム)の売上高は、新興市場(20.9%増の 7,700 万ユーロ)に牽引され、8.3%増の 1 億 9,700 万ユーロとなりました。通年における Cerezyme[®](セレザイム)の売上高は、8.3%増の 7 億 1,500 万ユーロでした。8 月に FDA 承認を取得した、ゴーシェ病 1 型成人患者のための唯一の経口治療薬である Cerdelga[®]は、400 万ユーロの売上高を記録しました。1 月、EMA は、ゴーシェ病 1 型患者の治療薬として Cerdelga[®]を承認しました。

第4四半期における Fabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、すべての地域で2桁成長を達成したことにより、14.4%増の1億2,300万ユーロとなりました。Fabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、西欧諸国で11.5%増の2,900万ユーロ、米国で12.2%増の5,900万ユーロ、新興市場で26.7%増の1,800万ユーロ、その他の地域で14.3%増の1,700万ユーロとなりました。通年における Fabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、23.0%増の4億6,000万ユーロでした。

第4四半期における Myozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、臨床患者さんの転換を一因とする米国(25.8%増の4,300万ユーロ)の業績および新興市場(28.6%増の2,700万ユーロ)の業績に牽引され、11.5%増の1億5,000万ユーロとなりました。期中における西欧諸国の売上高は、前年同期並みの7,100万ユーロでした。2014年度通年における Myozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、9.8%増の5億4,200万ユーロとなりました。

多発性硬化症の第4四半期の売上高は114.1%増の1億6,200万ユーロ、通年の売上高は178.0%増の4億6,700万ユーロでした。

2014年度第4四半期における Aubagio[®]の売上高は、前年同期の6,900万ユーロに対し、1億4,600万ユーロとなりました。第4四半期における Aubagio[®]の米国での売上高は、前年同期の5,500万ユーロに対し、1億800万ユーロでした。2013年度第4四半期に同製品が発売された西欧諸国では、第4四半期における同製品の売上高が2,700万ユーロに達しました。通年における Aubagio[®]の売上高は、160.8%増の4億3,300万ユーロとなりました。

Lemtrada[™]の第4四半期の売上高は1,600万ユーロ、通年の売上高は3,400万ユーロでした。第4四半期における西欧諸国での同製品の売上高は、1,200万ユーロでした。11月、FDAが再発性多発性硬化症の治療薬として Lemtrada[®]を承認しました。第4四半期における米国での Lemtrada[®]の売上高は200万ユーロでした。

その他の革新的製品⁽¹⁾

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Multaq [®]	75	-1.4%	290	+7.8%
Jevtana [®] (ジェブタナ)	74	+9.1%	273	+19.5%
Mozobil [®]	31	+16.0%	111	+9.9%
Zaltrap [®]	20	+33.3%	69	+30.2%
Auvi-Q [™]	9	-27.3%	72	+21.7%
その他の革新的製品合計	209	+5.9%	815	+14.7%

(1)その他の成長基盤に属さない最近の製品発売を含む

その他の革新的製品の第4四半期の売上高は5.9%増の2億900万ユーロ、通年の売上高は14.7%増の8億1,500万ユーロでした。

Multaq[®]の第4四半期の売上高は1.4%減の7,500万ユーロ、通年の売上高は7.8%増の2億9,000万ユーロでした。第4四半期における Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、9.1%増の7,400万ユーロとなりました。通年における Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、19.5%増の2億7,300万ユーロでした。Mozobil[®]の第4四半期の売上高は、米国(14.3%増の1,800万ユーロ)に牽引され16.0%増の3,100万ユーロ、通年の売上高は9.9%増の1億1,100万ユーロでした。第4四半期における Zaltrap[®]の売上高は、西欧諸国での最近の発売による牽引が米国での売上高低下を相殺し、33.3%増の2,000万ユーロとなりました。通年における同製品の売上高は、30.2%増の6,900万ユーロでした。

その他の医薬品

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
Plavix [®] (プラビックス)	500	+1.6%	1,862	+4.7%
Lovenox [®]	436	-0.5%	1,699	+2.1%
Aprovel [®] /Avapro [®]	177	-11.9%	727	-16.6%
Renvela [®] /Renagel [®] (レナジェル)	213	-7.8%	684	-8.7%
Synvisc [®] (サイビスク)/Synvisc-One [®]	101	-4.0%	352	-4.6%
Myslee [®] (マイスリー) /Ambien [®] /Stilnox [®]	77	-26.9%	306	-18.4%

Taxotere®(タキソテール)	71	-31.1%	266	-31.5%
Eloxatin®	74	+34.6%	210	-2.7%
Allegra®(アレグラ)	41	-50.6%	192	-48.3%

第4四半期における **Plavix®**(プラビックス)の売上高は、新興市場(4.2%増の2億3,300万ユーロ)と日本(5.7%増の2億1,100万ユーロ)に牽引され、1.6%増の5億ユーロとなりました。2015年半ばに、**Plavix®**(プラビックス)のジェネリック医薬品が日本市場に投入されるものと予測されます。中国における同製品の売上高は、9.6%増の1億3,500万ユーロとなりました。通年における **Plavix®**(プラビックス)の売上高は、4.7%増の18億6,200万ユーロでした。

第4四半期における **Lovenox®**の売上高は、ジェネリック医薬品との競合による米国での売上高減少(37.3%減の3,500万ユーロ)を受けて、0.5%減の4億3,600万ユーロとなりました。新興市場における **Lovenox®**は引き続き好業績を達成し、売上高は、中国、ブラジル、ロシアに牽引され、10.6%増の1億5,400万ユーロとなりました。西欧諸国における同製品の売上高は、1.4%増の2億2,600万ユーロに達しました。2014年度通年における **Lovenox®**の売上高は、2.1%増の16億9,900万ユーロとなりました。

第4四半期における **Renvela®/Renagel®**(レナジェル)の売上高は、米国での売上高減少(11.0%減の1億5,900万ユーロ)を反映し、7.8%減の2億1,300万ユーロとなりました。米国における同製品の売上高は、**Renvela®**錠のオーソライズド・ジェネリック医薬品について、2014年4月以降、米国で限られた割り当て分のボトルを販売するライセンスを供与する **Impax** 社との合意の影響を受けました。具体的な割り当て分は、米国における2013年度の **sevelamer**(一般名:セベラマー)売上高全体の10%程度に相当します。通年における **Renvela®/Renagel®**(レナジェル)の売上高は、8.7%減の6億8,400万ユーロでした。

第4四半期における **Aprovel®/Avapro®**の売上高は、ジェネリック医薬品との競合により西欧諸国での売上高が35.8%減の4,300万ユーロとなったことを受けて、11.9%減の1億7,700万ユーロとなりました。通年の **Aprovel®/Avapro®**の売上高は、16.6%減の7億2,700万ユーロでした。

主に日本でのジェネリック医薬品との競合を反映し、第4四半期における処方薬の **Allegra®**(アレグラ)の売上高は50.6%減(カテゴリー変更を除外すると25.9%減)の4,100万ユーロ、**Ambien®**製品群の売上高は26.9%減の7,700万ユーロとなりました。通年における **Allegra®**(アレグラ)の売上高は1億9,200万ユーロ、**Ambien®**製品群の売上高は、3億600万ユーロでした。

ジェネリック医薬品の侵食を主原因として、**Taxotere®**(タキソテール)の第4四半期の売上高は31.1%減の7,100万ユーロ、通年の売上高は31.5%減の2億6,600万ユーロとなりました。**Eloxatin®**の第4四半期の売上高は34.6%増の7,400万ユーロ、通年の売上高は2.7%減の2億1,000万ユーロとなりました。

ジェネリック医薬品

第4四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、西欧諸国(7.7%減の1億3,300万ユーロ)および米国(25.7%減の2,900万ユーロ)での売上高減少によって、ブラジルでの回復(22%増の7,100万ユーロ)が相殺され、0.6%減の4億6,700万ユーロとなりました。通年におけるジェネリック医薬品の売上高は、16.2%増(ブラジルのジェネリック医薬品を除くと2.8%減)の18億500万ユーロとなりました。

ワクチン

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン (Pentacel® 、 Pentaxim® 、および Imovax® (イモバックス)ポリオを含む)	400	+12.0%	1,154	+1.9%
インフルエンザワクチン (Vaxigrip® と Fluzone® を含む)	334	+59.1%	1,178	+25.2%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra® (メナクトラ)を含む)	93	+7.3%	455	-7.5%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン(Adacel® を含む)	103	-1.0%	398	+2.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	100	-9.2%	377	+1.6%

その他のワクチン

147

+1.5%

412

+9.7%

ワクチン合計

(連結売上高)

1,177

+16.2%

3,974

+7.2%

第4四半期におけるサノフィパスツールの連結売上高は、米国と新興市場でインフルエンザワクチンが好業績を収め、米国で Pentacel[®]の売上が引き続き回復したことに牽引され、16.2%増の11億7,700万ユーロとなりました。第4四半期における米国の売上高は22.3%増の6億5,300万ユーロ、新興市場の売上高は19.9%増の4億4,100万ユーロでした。通年におけるサノフィパスツールの連結売上高は、堅調な需要を背景に、生産能力の制約が課題として残っているものの、7.2%増の39億7,400万ユーロとなりました。サノフィは2015年も引き続き、この課題への対応を継続します。

第4四半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、米国でのサノフィパスツールの製品差別化戦略と新興市場での好業績の結果、59.1%増の3億3,400万ユーロとなりました。第4四半期における米国でのインフルエンザワクチンの売上高は、65.3%増の2億1,700万ユーロとなりました。2014年度は、4価(のウィルス株から成る)インフルエンザワクチン Fluzone[®] Quadrivalent、高齢者向けの Fluzone[®] High-Dose(高用量)、革新的な皮内送達マイクロインジェクションシステムを用いた Fluzone[®] ID(皮内接種)といった差別化されたワクチンの売上が、米国でのサノフィパスツールのインフルエンザワクチン売上高に占める割合で、前年同期の41%に対し、88%を占めるに至りました。第4四半期における新興市場でのインフルエンザワクチンの売上高は、メキシコでの堅調な成長を受けて、55.9%増の1億900万ユーロとなりました。通年におけるインフルエンザワクチンの売上高は、25.2%増の11億7,800万ユーロでした。

第4四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、12.0%増の4億ユーロでした。米国におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、Pentacel[®]が引き続き回復したことを反映し、31.4%増の1億4,800万ユーロとなりました。新興市場におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、Pentaxim[®]の売上高増加と Hexaxim[®]の発売により、20.9%増の2億2,000万ユーロとなりました。第4四半期における中国での Pentaxim[®]の売上高は、供給の変動と在庫レベルの低下を反映し、減少しました。その他の地域におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの第4四半期の売上高は、日本での Imovax[®](イモバックス)ポリオワクチンの売上高減少を反映し、42.3%減の2,800万ユーロとなりました。通年におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、1.9%増の11億5,400万ユーロでした。

第4四半期における Menactra[®](メナクトラ)の売上高は、米国での13.5%増を反映し、19.0%増の8,000万ユーロとなりました。通年における Menactra[®](メナクトラ)の売上高は、3.1%減の4億700万ユーロでした。米国での Menactra[®](メナクトラ)は2014年も優勢な市場シェアを維持しました。

成人用ブースターワクチンの第4四半期の売上高は、1.0%減の1億300万ユーロ、通年の売上高は2.0%増の3億9,800万ユーロでした。

トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの第4四半期の売上高は9.2%減の1億ユーロ、通年の売上高は1.6%増の3億7,700万ユーロでした。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD(サノフィに非連結)の第4四半期の売上高は、前年同期比(調整前)2.8%減の2億4,000万ユーロ、通年の売上高は、前年同期比(調整前)3.3%減の8億4,800万ユーロとなりました。

動物用医薬品

(単位:100万ユーロ)	2014年度 第4四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	275	+21.5%	1,281	+8.8%
産業動物	232	+1.8%	795	+3.5%
動物用医薬品合計	507	+11.5%	2,076	+6.7%
-フィプロニル製品	114	+16.7%	597	-0.2%
-NexGard [™] (ネクスガード)	28	-	113	-
-アベルメクチン製品	85	+5.1%	398	-1.7%
-ワクチン	210	+0.0%	720	+1.2%

第4四半期における動物用医薬品の売上高は、NexGard[™](ネクスガード)の発売成功と困難な前年度を経たフィプロニル製品の業績に支えられ、11.5%増の5億700万ユーロとなりました。第4四半期における米国での動物用医薬品の売上高

は、35.7%増の 1 億 7,000 万ユーロとなりました。通年における動物用医薬品の売上高は、6.7%増の 20 億 7,600 万ユーロでした。

第 4 四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、NexGard™(ネクスガード)の順調な発売と Frontline®(フロントライン)製品群の業績(+16.0%)を反映し、21.5%増の 2 億 7,500 万ユーロとなりました。メリアルは、新世代のノミマダニ駆除薬である犬用 NexGard™を 2014 年度第 1 四半期に米国で発売し、2014 年度に欧州諸国の大半で発売しました。NexGard™(ネクスガード)の第 4 四半期の売上高は 2,800 万ユーロ、通年の売上高は 1 億 1,300 万ユーロとなりました。第 4 四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの米国での売上高は、39.8%増の 1 億 4,100 万ユーロ、西欧諸国での売上高は 11.7%増の 6,700 万ユーロでした。通年におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、8.8%増の 12 億 8,100 万ユーロでした。

第 4 四半期における産業動物セグメントの売上高は、1.8%増の 2 億 3,200 万ユーロとなりました。家禽・豚事業の好業績が獣医公衆衛生製品のマイナスの影響によって部分的に相殺されました(2014 年度通年の獣医公衆衛生製品の売上高は、前年同期並でした)。通年における産業動物セグメントの売上高は、3.5%増の 7 億 9,500 万ユーロでした。

地域別純売上高

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2014 年度 通年 純売上高	前年同期比 (CER)
新興市場^(a)	3,126	+7.9%	11,347	+9.3%
－中南米	934	+14.4%	3,363	+21.1%
－アジア	872	+4.9%	3,205	+6.3%
－東欧、ロシア、およびトルコ	673	+5.8%	2,541	+5.0%
－アフリカおよび中東	596	+3.5%	2,095	+2.5%
米国	3,147	+8.8%	11,339	+8.2%
西欧諸国^(b)	1,956	+0.1%	7,865	+0.0%
その他^(c)	843	-8.4%	3,219	-7.2%
－日本	550	-12.0%	2,119	-8.6%
合計	9,072	+4.6%	33,770	+4.9%

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第 4 四半期における新興市場の売上高は、7.9%増の 31 億 2,600 万ユーロでした。医薬品事業の売上高は、糖尿病(17.3%増)とジェンザイム(22.3%増)に牽引され、6.2%増となりました。中国の売上高は、1.8%増の 4 億 3,900 万ユーロであり、医薬品事業の業績(12.4%増)は、Pentaxim®の売上高減少によって部分的に相殺されました。中国における売上高は、Plavix®(プラビックス)と Lantus®(ランタス)に牽引され、増加しました。第 4 四半期における東欧、ロシア、およびトルコの売上高は、トルコおよびハンガリーの好業績に支えられ、5.8%増の 6 億 7,300 万ユーロとなりました。第 4 四半期における東欧の売上高は、3.4%増の 3 億 4,500 万ユーロとなりました。ロシアでの売上高は、糖尿病に牽引され、6.4%増の 2 億 800 万ユーロとなりました。アフリカおよび中東での売上高は、3.5%増の 5 億 9,600 万ユーロでした。ブラジルでの売上高は、3.3%減の 3 億 1,800 万ユーロでした。通年における新興市場の売上高は、9.3%増の 113 億 4,700 万ユーロでした。ブラジルのジェネリック医薬品を除くと、新興市場の売上高は 6.5%増でした。通年における中国の売上高は 8.8%増の 16 億 300 万ユーロ、ブラジルの売上高は 34.8%増(ジェネリック医薬品を除くと 6.9%増)の 13 億 8,200 万ユーロ、ロシアの売上高は 7.1%増の 8 億 1,300 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における米国の売上高は、ジェンザイム(28.6%増)、ワクチン(22.3%増)、糖尿病(10.2%増)、動物用医薬品(35.7%増)の好業績を受けて 8.8%増の 31 億 4,700 万ユーロとなりました。通年における米国の売上高は、8.2%増の 113 億 3,900 万ユーロでした。

第 4 四半期における西欧諸国での売上高は、0.1%増の 19 億 5,600 万ユーロとなりました。Aprovel®のジェネリック医薬品との競合の影響によって、ジェンザイム(16.3%増)および糖尿病(10.0%増)の好業績が相殺されました。通年における西欧諸国の売上高は、前年同期並みの 78 億 6,500 万ユーロでした。

第 4 四半期における日本の売上高は、Allegra[®] (アレグラ)、Myslee[®] (マイスリー)、Amaryl[®] (アマリール)、および Taxotere[®] (タキソテール) のジェネリック医薬品の競合とワクチンの売上高減少の影響を反映し、12.0%減の 5 億 5,000 万ユーロとなりました。通年における日本の売上高は、8.6%減の 21 億 1,900 万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 8 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2014 年 10 月 28 日の 2014 年度第 3 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 1 月、欧州医薬品庁 (EMA) が Praluent[™] (一般名: alirocumab、Regeneron 社と共同開発中) の販売承認申請 (MAA) を受理しました。1 月、米国食品医薬品局 (FDA) は、Praluent[™] の生物製剤承認申請 (BLA) を優先審査の対象として受理しました。Praluent[™] は、高コレステロール血症患者さんの治療薬として開発中の PCSK9 を標的とするモノクローナル抗体です。
- 1 月、アジアの複数の流行国でデング熱ワクチンの申請を順次開始しました。
- 1 月、欧州委員会が体内・体外のさまざまな寄生虫を月 1 回の投与で管理する犬用ビーフ風味のソフトチュアブルである NexGard[®] Spectra[™] (一般名: アフォキシラネルおよびミルベマイシンオキシム) を承認しました。
- 1 月、EMA は、小児用 6 種混合ワクチンの PR5i の販売承認申請 (MAA) を受理しました。
- 1 月、欧州委員会がゴーシェ病 1 型成人患者のための経口治療薬として Cerdelga[®] (一般名: eliglustat) を承認しました。
- 12 月、皮内送達マイクロインジェクションシステムを用いた 4 価 (のウィルス株から成る) インフルエンザワクチンである Fluzone[®] Quadrivalent ID ワクチンが米国で承認されました。
- 11 月、FDA は、Fluzone[®] High-Dose (高用量) インフルエンザワクチンについて、有効性データを処方情報に含めるための生物学的製剤追加承認申請 (sBLA) を承認しました。これらのデータは、Fluzone[®] High-Dose (高用量) ワクチンが、標準用量の Fluzone[®] ワクチン (3 価筋注製剤) と比較して、65 歳以上の成人のインフルエンザ予防により有効であることを示しています。
- 11 月、FDA は、アトピー性皮膚炎の局所外用薬でコントロール不十分、および/あるいはその治療が適切でない中等度から重度までのアトピー性皮膚炎の成人患者さんの治療薬として、Th2 免疫反応に必要な 2 つのサイトカイン IL-4 および IL-13 を阻害するモノクローナル抗体である dupilumab を画期的治療薬に指定しました。
- 11 月、FDA は、2 つ以上の治療薬で効果不十分な再発性多発性硬化症の治療薬として Lemtrada[®] (一般名: alemtuzumab) を承認しました。

2015 年 2 月初め時点の研究開発ポートフォリオは、臨床開発段階にあるワクチンの候補を含む 43 のプロジェクト (ライフサイクルマネジメントを除く) から構成され、そのうち 14 は第 III 相あるいは規制当局に承認申請中の段階にあります。

ポートフォリオの最新情報

第 III 相:

- インスリンリスプロプロジェクト (SAR 342434) が 1 型および 2 型糖尿病に関して第 III 相に入りました。
- Revusiran (SAR438714、Alnylam 社と共同開発中) が家族性アミロイド心筋症の治療薬として第 III 相開発段階に入りました。
- サノフィと Regeneron 社は 1 月、Praluent[™] (一般名: alirocumab) を 4 週間ごとに投与して評価する初の第 III 相試験である 2 件の新しい ODYSSEY 試験 (ODYSSEY CHOICE I 試験および CHOICE II 試験) が主要有効性評価項目を達成したことを発表しました。両試験では、高コレステロール血症患者さんにおいて、24 週目におけるベースラインからの低比重リポタンパクコレステロール (LDL-C) の低下を alirocumab とプラセボで比較しました。

- 11月、**Praluent™** (一般名: **alirocumab**) を評価する6件の第III相 **ODYSSEY** 試験から新たに得られた詳細な肯定的結果が米国心臓協会 (AHA) 学術会議で発表されました。全6件の試験 (**ODYSSEY LONG TERM** 試験、**COMBO I** 試験、**ALTERNATIVE** 試験、**OPTIONS I** 試験、**OPTIONS II** 試験、および **HIGH FH** 試験) は、24週目の時点で実薬対照またはプラセボ (標準療法を含む) を上回る低下を達成するという主要有効性評価項目を達成しました。
- 11月、ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン誌に、**デング熱ワクチン** に関する中南米での第III相有効性臨床試験の結果が掲載されました。症候性デング熱に対する全般的有効性は、ワクチンを3回接種した9~16歳の小児および青年で **60.8%*** でした。解析によると、重篤なデング熱に対して **95.5%*** の有効性があり、試験中の入院のリスクについては **80.3%*** の抑制効果があることが明らかになりました。試験の安全性解析では、ワクチンと対照群でほぼ同等の報告率が見られ、アジアで過去に実施された有効性試験25カ月間にわたる積極的調査期間に観察された良好な安全性プロファイルと一致しました。この中南米での試験の完全なデータは、2014年11月の米国熱帯医学会議 (ASTMH) においても発表されました。

* 95% CI (信頼区間) 重篤なデング熱に対する有効性 [68.8%, 99.9%]、95% CI 全般的な有効性 [52.0%, 68.0%]、95% CI 入院リスクの抑制 [64.7%, 89.5%]

第II相:

- 11月、サノフィと **Regeneron** 社は、中等度から重度までのコントロール不良な成人の喘息患者さんにおける **dupilumab** の第IIb相用量設定試験の中間解析の肯定的な結果を発表しました。この試験では、12週目の時点で血中好酸球が増加している患者さんにおいて、標準療法との併用下で、3つの高用量 **dupilumab** とプラセボを比較して、1秒間の努力呼気量 (FEV1、肺機能の標準的な評価法) のベースラインからの統計的有意な改善という主要評価項目が達成されました。
- 好酸球性食道炎における **dupilumab** 単剤療法の第II相開発段階が開始されました。
- 経口GCS阻害剤の **GZ402671** がファブリー病の第II相段階に入りました。

第I相:

- 抗CD52モノクローナル抗体の **GZ402668** が再発性多発性硬化症に関して第I相に入りました。
- サノフィは、固形がんで評価中の抗 **ANG2** モノクローナル抗体 **SAR307746** (現在、一時的に臨床試験差し止め) および呼吸器合胞体ウイルス (RSV-F) タンパク阻害モノクローナル抗体 **SAR438584** の2件のプロジェクト (Regeneron 社との共同開発) を中止することにしました。
- サノフィは、**SAR260301** (抗がん剤として評価中の **PI3K** ベータ選択阻害剤) の開発を追求しないことを決定しました。

2014 年度第 4 四半期および通年の業績

事業純利益⁽¹⁾

第 4 四半期におけるサノフィの**純売上高**は、前年同期比(調整前)で **7.3%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **4.6%増**)の 90 億 7,200 万ユーロとなりました。通年の売上高は、前年同期比(調整前)**2.5%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **4.9%増**)の 337 億 7,000 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における**その他収益**は、為替レート変動のプラスの影響を受け、**11.4%増**(為替レート変動の影響を除くと **5.7%増**)の 9,800 万ユーロとなりました。通年におけるその他収益は、**4.5%減**の 3 億 3,900 万ユーロとなりました。

第 4 四半期における**売上総利益**は、**8.5%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **5.5%増**)の 61 億 2,900 万ユーロとなりました。純売上高に対する売上原価の比率(**CoS 率**)は、前年同期と比較し **0.8 ポイント改善**し **33.5%**となりました。これは、ジェンザイム、米国の医薬品事業、為替レート、生産能力の向上によって、ワクチンの製品構成におけるマイナスの影響がおおむね相殺されたことを反映したものです。通年の売上総利益は、**3.4%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **5.9%増**)の 230 億 8,000 万ユーロに達しました。2014 年度通年の純売上高に占める売上原価の比率は、ジェンザイムの高マージン、ブラジルにおけるジェネリック医薬品の回復、生産能力の向上がワクチンおよび動物用医薬品における製品構成のマイナスの影響を受けて部分的に相殺され、前年同期と比較し **0.7 ポイント改善**の **32.7%**となりました。

第 4 四半期における**研究開発費**は、**8.4%増**の 13 億 5,100 万ドルとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、研究開発費は、sarilumab および Praluent™ への高支出を反映し、**5.8%増**となりました。通年の研究開発費は、モノクローナル抗体開発プログラムおよび希少疾患と多発性硬化症における第 IV 相試験への支出拡大が社内のコスト削減によって部分的に相殺されたことを反映し、**1.1%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **1.9%増**)の 48 億 2,400 万ユーロとなりました。2014 年度通年の純売上高に占める研究開発費の割合は、前年同期と比較し **0.2 ポイント減少**し、**14.3%**となりました。

第 4 四半期の**販売費および一般管理費(SG&A)**は、**14.9%増**の 24 億 6,500 万ユーロでした。為替レート変動の影響を排除した場合、販売費および一般管理費は、中国での営業部門への追加的な投資、ワクチンおよび動物用医薬品、多発性硬化症および希少疾患におけるジェンザイムの発売に伴う投資を反映し、**11.8%増**となりました。第 4 四半期の純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、前年同期比で **1.8 ポイント増加**し、**27.2%**となりました。通年の販売費および一般管理費は、多発性硬化症と希少疾患におけるジェンザイムの発売に伴う投資、Nasacort® OTC および NexGard™(ネクスガード)の販売およびマーケティングのための投資、中国における発売準備費用の増大と営業部隊の拡大を受けて、**4.5%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **6.6%増**)の 89 億 9,100 万ユーロとなりました。2014 年度通年の販売費および一般管理費が純売上高に占める割合は、前年同期比で **0.5 ポイント増加**し、**26.6%**となりました。

第 4 四半期における**その他の当期営業収益(費用控除後)**は、前年同期の 2 億 5,200 万ユーロに対し、**9,600 万ユーロ**となりました。今期には、主にフランスとイタリアで一部の製品を第三者に売却したことによる **7,900 万ユーロ(税引前)**のキャピタルゲインが含まれています。2013 年度第 4 四半期のこの項目には、Actonel®に関連した **9,200 万ユーロ**の支払いと、Rituxan®の調停に関連した **9,300 万ユーロ**の収入が含まれていました。

第 3 四半期における**関連会社持分利益**は、前年同期の 2,600 万ユーロに対し、**6,500 万ユーロ**となりました。このデータには、4 月以降の持分法に基づき計上された Regeneron 社の利益に占める当社の持分、および欧州におけるメルク社とのワクチン関連ジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD の利益に占める当社の持分が含まれています。2014 年度通年における関連会社持分利益は、前年同期の **8,500 万ユーロ**に対し、**1 億 4,700 万ユーロ**となりました。

非支配株主に帰属する純利益は、第 4 四半期に **3,100 万ユーロ**の損失、通年に **1 億 2,700 万ユーロ**の損失となりました。

第 4 四半期の**事業営業利益**は、前年同期比 **2.0%減**の 24 億 4,300 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業営業利益は **3.3%減**でした。純売上高に占める事業営業利益の割合は、**2.6 ポイント減少**し、**26.9%**となりました。通年の事業営業利益は、**1.4%増**(為替レート変動の影響を排除した場合は **5.4%増**)の 94 億 4,900 万ユーロとなりました。2014 年度通年の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期の **28.3%**に対し、**28.0%**となりました。

第 4 四半期における**純財務費用**は、前年同期の 1 億 300 万ユーロに対し、**1 億 3,800 万ユーロ**でした。2013 年度の第 4 四半期のこの項目には、財務投資の一部売却に関連した **2,900 万ユーロ**のキャピタルゲインが含まれていました。2014 年

⁽¹⁾ 財務指標の定義については付録 10、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録 3 を参照

度通年における純財務費用は、前年同期の 5 億 300 万ユーロに対し、4 億 4,700 万ユーロでした。2014 年度通年における財務費用には、6,800 万ユーロの純キャピタルゲインが含まれていました。

第 4 四半期の**実効税率**は、前年同期の 24%に対し、21%でした。2014 年度の実効税率は、前年同期並みの 24.0%でした。

第 4 四半期における**事業純利益**⁽¹⁾は、0.8%増の 18 億 2,800 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業純利益は 0.3%減でした。純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期の 21.4%に対し、20.1%となりました。通年の事業純利益は、2.4%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 6.7%増)の 68 億 4,700 万ユーロとなりました。2014 年度通年の純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期並みの 20.3%でした。

2014 年度第 4 四半期の**1 株当たり事業純利益**⁽¹⁾(EPS)は、調整前では 1.5%増、為替レート変動の影響を排除した場合は前年同期並みの 1.39 ユーロとなりました。2014 年度第 4 四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 2,110 万株に対し、13 億 1,580 万株となりました。2014 年度通年の**1 株当たり事業純利益**⁽¹⁾(EPS)は、調整前では 3.0%増、為替レート変動の影響を排除した場合は 7.3%増の 5.20 ユーロとなりました。2014 年度通年の期中平均発行済み株式数は、自社株式の買い戻しにより、前年同期の 13 億 2,310 万株に対し、13 億 1,580 万株となりました。

事業純利益から連結純利益への調整(付録 3 を参照)

2014 年度通年の事業純利益と当社株主に帰属する連結純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 8 億 7,400 万ユーロ、ジェンザイムの 8 億 1,100 万ユーロ、メリアル[®]の 4 億 100 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:1 億 2,100 万ユーロ)に関連した償却費は、24 億 8,200 万ユーロでした。2014 年度第 4 四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 1 億 8,500 万ユーロ、ジェンザイムの 2 億 300 万ユーロ、メリアル[®]の 1 億 700 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:5,700 万ユーロ)に関連した償却費、6 億 2,000 万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産の減損の正味戻入、2,600 万ユーロ(このうち、主に 2013 年度第 4 四半期に計上された Lemtrada[®]の減損の部分的戻入、ロタウイルスワクチンの部分的減損、および新興市場における CHC の無形固定資産に関連した 1 億 3,500 万ユーロが 2014 年度第 4 四半期)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 主に、CVR に関連した偶発対価の公正価値の上昇(8,200 万ユーロ、このうち 6,100 万ユーロを 2014 年度第 4 四半期に計上)と Lemtrada[®]に関連しバイエル社の偶発対価(2 億 3,800 万ユーロ、このうち 8,300 万ユーロを 2014 年度第 4 四半期に計上)を主に反映した 3 億 300 万ユーロの費用(このうち 1 億 2,600 万ユーロを 2014 年度第 4 四半期に計上)。
- 4 億 1,100 万ユーロの事業再編費用(主にフランスおよび北米での変革に関連する第 4 四半期の 1 億 1,300 万ユーロを含む)。
- Alnylam 社株式の評価益、3,500 万ユーロ。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 2014 年 7 月に公布された最終 IRS 規則により、債務の認識時期が変更され、2014 年度に 1 回限りの「二重」経費が生じることを受けて、2013 年の米国での売上高に関連して生じる 1 億 1,600 万ユーロの年間経費。
- 上記項目から生じた 10 億 9,400 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた 7 億 2,800 万ユーロ、偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 2 億 5,400 万ユーロ、および事業再編費用に関連した 1 億 4,300 万ユーロから構成される)。第 4 四半期の税効果は、偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 2 億 3,500 万ユーロ、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 8,900 万ユーロと事業再編費用に関連する 4,400 万ユーロを含め、3 億 1,100 万ユーロでした(付録 3 を参照)。

⁽¹⁾ 財務指標の定義については付録 10、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録 3 を参照

- サノフィ株主に支払った配当に対する 1 億 1,000 万ユーロの税金
- 「関連会社持分利益」に含まれる、関連会社買収の一部としての資産および負債の公正価値での再評価、ならびにジョイントベンチャーの無形固定資産の償却に関連した 1 億 9,800 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 8,000 万ユーロを 2014 年度第 4 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

資本配分

12 億 2,300 万ユーロの資本支出と 9 億 8,800 万ユーロの運転資本の減少を考慮し、事業再編費用を除いた 2014 年度通年の純キャッシュは、12.3%増の 72 億 4,800 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、新株発行による収益(6 億 8,000 万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(18 億 100 万ユーロ)、サノフィが支払った配当(36 億 7,600 万ユーロ)、買収・提携(売却を控除)(Regeneron 社に関連した 16 億 2,900 万ユーロと Alnylam 社に関連した 5 億 3,500 万ユーロを含む 23 億 7,400 万ユーロ)、および事業再編費用(7 億 7,400 万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、2013 年 12 月 31 日時点の 60 億 4,300 万ユーロから 2014 年 12 月 31 日時点の 71 億 7,100 万ユーロ(73 億 4,100 万ユーロの現金および現金等価物を控除)へと増加しました。

通年に、株主に還元した資本は 54 億 7,700 万ユーロでした(2013 年度の業績に基づき 2014 年度に支払った配当 36 億 7,600 万ユーロ、および 2014 年度に実施した株式買い戻し 18 億 100 万ユーロ)。

2015 年度の資本支出は、特に生物学的製剤に関する活動への投資を反映し、18 億ユーロから 19 億ユーロ程度と予測されます。

付録

付録一覧

付録 1: 2014 年度第 4 四半期および通年の地域別・製品別連結純売上高

付録 2: 2014 年度第 4 四半期および通年の事業純利益計算書

付録 3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

付録 4: 2014 年度第 4 四半期および通年の連結損益計算書

付録 5: 純負債の変動

付録 6: 簡易連結貸借対照表

付録 7: 2015 年の為替感度

付録 8: 研究開発パイプライン

付録 9: 2015 年度に見込まれる研究開発マイルストーン

付録 10: 定義

付録 1: 2014 年度第 4 四半期および通年の地域別・製品別連結純売上高

2014 年度第 4 四半期純売上高 (単位:100 万ユーロ)	合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	西欧諸国	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)
Lantus (ランタス)	1,772	10.8%	17.2%	228	11.3%	1,197	10.1%	270	17.1%	77	0.0%
Apidra (アピドラ)	96	16.0%	18.5%	25	13.0%	41	11.8%	21	29.4%	9	14.3%
Amaryl (アマリール)	91	-1.1%	0.0%	4	-20.0%	1	0.0%	73	6.1%	13	-21.1%
Insuman	38	18.2%	15.2%	21	-8.7%	0	-	17	63.6%	0	-100.0%
Lyxumia (リキスミア)	8	80.0%	60.0%	4	33.3%	0	-	1	-	3	100.0%
糖尿病	2,024	11.0%	16.7%	297	10.0%	1,239	10.2%	383	17.3%	105	1.0%
Taxotere (タキソテール)	71	-31.1%	-	4	33.3%	1	-88.9%	46	-18.2%	20	-41.7%
Jevtana (ジェブタナ)	74	9.1%	12.1%	36	5.9%	26	4.3%	8	0.0%	4	-
Eloxatine	74	34.6%	42.3%	1	0.0%	25	666.7%	31	0.0%	17	-11.1%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	57	10.0%	14.0%	8	0.0%	30	7.7%	15	23.1%	4	0.0%
Mozobil	31	16.0%	24.0%	8	0.0%	18	14.3%	4	50.0%	1	100.0%
Zaltrap	20	33.3%	33.3%	12	100.0%	7	-12.5%	1	0.0%	0	-
その他のオンコロジー製品	63	-1.6%	0.0%	12	-15.4%	39	-5.6%	9	12.5%	3	33.3%
オンコロジー	390	1.3%	4.3%	81	9.6%	146	11.8%	114	-4.2%	49	-17.2%
Aubagio	146	98.6%	111.6%	27	133.3%	108	80.0%	4	400.0%	7	400.0%
Lemtrada	16	650.0%	700.0%	12	450.0%	2	-	1	-	1	-
Cerezyme (セラゼイム)	197	8.3%	8.8%	62	1.7%	48	0.0%	77	20.9%	10	0.0%
Cerdelga	4	-	-	0	-	4	-	0	-	0	-
Myozyme (マイオザイム)	150	11.5%	14.5%	71	0.0%	43	25.8%	27	28.6%	9	12.5%
Fabrazyme (ファブラザイム)	123	14.4%	18.3%	29	11.5%	59	12.2%	18	26.7%	17	14.3%
Aldurazyme (アウドラザイム)	45	4.7%	4.7%	16	6.3%	9	0.0%	15	6.7%	5	0.0%
その他の希少疾患製品	65	1.5%	0.0%	12	22.2%	26	-7.7%	12	-9.1%	15	10.5%
ジェンザイム	746	22.2%	25.4%	229	16.3%	299	28.6%	154	22.3%	64	17.9%
Plavix (プラビックス)	500	1.6%	1.8%	49	-18.3%	0	-	233	4.2%	218	4.6%
Lovenox	436	-0.5%	-0.5%	226	1.4%	35	-37.3%	154	10.6%	21	-4.3%
Aprovel	177	-11.9%	-8.3%	43	-35.8%	5	-28.6%	103	-4.9%	26	47.1%
Renagel (レナジェル) および Renvela	213	-7.8%	-1.8%	36	6.1%	159	-11.0%	13	-23.5%	5	75.0%
Allegra (アレグラ)	41	-50.6%	-52.9%	2	0.0%	0	-100.0%	1	-96.7%	38	-28.6%
Stilnox (マイスリー)	77	-26.9%	-26.0%	9	0.0%	21	-34.5%	15	6.7%	32	-38.0%
Depakine	104	10.6%	10.6%	36	0.0%	0	-	65	18.5%	3	0.0%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	101	-4.0%	2.0%	8	14.3%	78	-7.7%	11	37.5%	4	-33.3%
Tritace	69	-6.8%	-6.8%	31	-6.1%	0	-	35	-7.9%	3	0.0%
Multaq	75	-1.4%	5.6%	11	-8.3%	61	-1.8%	2	0.0%	1	-
Lasix (ラシックス)	41	-10.9%	-10.9%	19	0.0%	1	0.0%	13	0.0%	8	-41.7%
Targocid (タゴシッド)	47	14.6%	14.6%	23	21.1%	0	-	23	10.5%	1	0.0%
Orudis	44	25.7%	25.7%	6	-16.7%	0	-	38	35.7%	0	0.0%
Cordarone (アンカロン)	33	-5.6%	-8.3%	6	0.0%	0	-	18	0.0%	9	-18.2%
Xatral	25	4.2%	4.2%	10	0.0%	0	-	16	0.0%	-1	-100.0%
Actonel	20	-20.0%	-20.0%	4	-20.0%	0	-	9	-25.0%	7	-12.5%
Auvi-Q / Allerject	9	-27.3%	-18.2%	0	-100.0%	7	-22.2%	0	-	2	0.0%
その他の処方薬	932	-13.2%	-12.4%	391	-7.2%	72	-44.3%	382	-4.5%	87	-30.4%
その他の処方薬計	2,944	-7.8%	-6.5%	910	-6.3%	439	-21.5%	1,131	-1.1%	464	-11.3%
コンシューマー・ヘルスケア	817	14.0%	13.2%	158	7.5%	172	17.0%	435	17.3%	52	0.0%
ジェネリック医薬品	467	-0.6%	-2.3%	133	-7.7%	29	-25.7%	291	4.5%	14	44.4%
医薬品	7,388	2.0%	4.7%	1,808	0.3%	2,324	4.0%	2,508	6.2%	748	-6.9%
ポリオ・百日咳ワクチン	400	12.0%	17.3%	4	-60.0%	148	31.4%	220	20.9%	28	-42.3%
インフルエンザワクチン	334	59.1%	68.7%	3	-40.0%	217	65.3%	109	55.9%	5	50.0%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	93	7.3%	13.4%	1	0.0%	62	7.7%	28	7.4%	2	0.0%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	103	-1.0%	5.1%	15	87.5%	63	-18.6%	19	26.7%	6	20.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	100	-9.2%	-8.3%	2	-66.7%	18	-15.8%	67	-4.3%	13	0.0%
その他のワクチン	147	1.5%	12.2%	3	200.0%	145	8.0%	-2	-150.0%	1	-400.0%
ワクチン	1,177	16.2%	22.7%	28	-9.7%	653	22.3%	441	19.9%	55	-29.5%
フィブロンル製品	114	16.7%	18.8%	30	16.0%	41	40.7%	30	11.1%	13	-11.8%
Nexgard (ネクsgard)	28	-	-	2	-	22	-	0	-	4	-
ワクチン	210	0.0%	1.9%	50	-7.5%	43	0.0%	111	3.7%	6	0.0%
アパルメクタン製品	85	9.0%	9.0%	16	-16.7%	40	28.6%	17	0.0%	12	-6.7%
その他	70	7.8%	9.4%	22	4.2%	24	5.0%	19	10.5%	5	100.0%
動物用医薬品	507	11.5%	14.2%	120	0.0%	170	35.7%	177	5.3%	40	2.6%
グループ合計	9,072	4.6%	7.3%	1,956	0.1%	3,147	8.8%	3,126	7.9%	843	-8.4%

2014年度通年純売上高 (単位:100万ユーロ)		合計	前年度比 (CER)	前年度比 調整前	西欧諸国	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	新興市場	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)
Lantus(ランタス)	6,344	12.1%	11.0%	871	7.7%	4,225	12.4%	970	17.6%	278	3.1%	
Apidra(アピドラ)	336	19.1%	16.7%	98	16.7%	131	16.1%	75	28.6%	32	17.2%	
Amaryl(アマリール)	360	0.3%	-4.0%	19	-13.6%	4	100.0%	283	8.9%	54	-26.8%	
Insuman	137	6.8%	3.8%	82	-8.9%	1	0.0%	54	38.1%	0	-100.0%	
Lyxumia(リクスミア)	27	211.1%	200.0%	15	150.0%	0	-	4	-	8	200.0%	
糖尿病	7,273	12.1%	10.7%	1,143	8.3%	4,361	12.6%	1,390	17.4%	379	1.0%	
Taxotere(タキソテール)	266	-31.5%	-35.0%	15	-31.8%	8	-81.0%	156	-23.2%	87	-29.1%	
Jevtana(ジェブタナ)	273	19.5%	18.2%	142	28.2%	91	5.8%	33	19.4%	7	75.0%	
Eloxatine	210	-2.7%	-5.0%	5	-16.7%	22	5.3%	121	-2.4%	62	-4.3%	
Thymoglobulin(サイモグロブリン)	217	11.1%	9.6%	32	3.2%	108	5.9%	64	26.4%	13	8.3%	
Mozobil	111	9.9%	9.9%	34	3.1%	62	8.9%	12	20.0%	3	66.7%	
Zaltrap	69	30.2%	30.2%	37	146.7%	27	-25.0%	5	150.0%	0	-	
その他のオンコロジー製品	255	2.4%	1.2%	55	0.0%	151	1.3%	32	6.7%	17	10.5%	
オンコロジー	1,401	-2.5%	-4.4%	320	17.4%	469	-4.9%	423	-5.4%	189	-14.1%	
Aubagio	433	160.8%	160.8%	83	600.0%	326	112.5%	10	550.0%	14	-	
Lemtrada	34	1600.0%	1600.0%	28	1250.0%	2	-	2	-	2	-	
Cerezyme(セラゼイム)	715	8.3%	3.9%	241	6.7%	186	4.5%	248	14.5%	40	-2.3%	
Cerdelga	4	-	-	0	-	4	-	0	-	0	-	
Myozyme(マイオザイム)	542	9.8%	8.4%	270	-1.8%	142	14.6%	98	41.9%	32	17.2%	
Fabrazyme(ファブラザイム)	460	23.0%	20.1%	110	26.4%	223	13.8%	69	49.0%	58	26.5%	
Aldurazyme(アウドラザイム)	172	11.3%	8.2%	64	6.7%	33	13.8%	58	16.7%	17	6.3%	
その他の希少疾患製品	244	2.9%	0.0%	43	7.7%	89	-10.1%	49	25.6%	63	6.0%	
ジェンザイム	2,604	24.3%	21.6%	839	19.6%	1,005	28.7%	534	26.7%	226	18.5%	
Plavix(プラビックス)	1,862	4.7%	0.3%	217	-15.6%	1	-80.0%	862	8.8%	782	7.6%	
Lovenox	1,699	2.1%	-0.2%	898	4.3%	130	-30.5%	584	10.1%	87	-2.1%	
Aprovel	727	-16.6%	-17.6%	190	-43.8%	18	5.9%	409	1.7%	110	-5.1%	
Renagel(レナジェル)および Renvela	684	-8.7%	-8.8%	133	-8.8%	464	-13.6%	68	9.0%	19	10.5%	
Allegra(アレグラ)	192	-48.3%	-52.7%	10	0.0%	0	-100.0%	5	-95.8%	177	-30.1%	
Stilnox(マイスリー)	306	-18.4%	-21.7%	40	-2.4%	74	-17.0%	63	1.5%	129	-29.1%	
Depakine	395	0.5%	2.5%	139	0.0%	0	-	243	1.2%	13	-6.7%	
Synvisc(サイビスク)/ Synvisc One	352	-4.6%	-5.1%	28	12.0%	274	-7.5%	39	24.2%	11	-33.3%	
Tritace	281	-5.9%	-8.5%	127	-6.6%	0	-	147	-3.8%	7	-27.3%	
Multaq	290	7.8%	7.8%	44	2.3%	235	8.8%	9	12.5%	2	0.0%	
Lasix(ランシックス)	164	-0.6%	-4.7%	78	4.0%	3	0.0%	51	12.0%	32	-22.7%	
Targocid(タゴシッド)	162	-0.6%	-2.4%	84	5.1%	0	-	71	-2.7%	7	-25.0%	
Orudis	160	17.4%	11.1%	20	-16.7%	0	-	137	23.9%	3	33.3%	
Cordarone(アンカロン)	129	-2.8%	-8.5%	24	-4.0%	0	-	71	2.7%	34	-11.9%	
Xatral	94	-5.0%	-6.9%	38	-2.6%	0	-100.0%	56	-1.7%	0	0.0%	
Actonel	82	-14.0%	-18.0%	17	-22.7%	0	-	41	-10.4%	24	-13.3%	
Auvi-Q / Allerject	72	21.7%	20.0%	2	-33.3%	61	21.6%	0	-	9	50.0%	
その他の処方薬	3,649	-11.2%	-13.6%	1,547	-6.2%	344	-29.8%	1,397	-7.9%	361	-20.2%	
その他の処方薬計	11,300	-6.7%	-9.2%	3,636	-6.8%	1,604	-15.2%	4,253	-1.5%	1,807	-9.8%	
コンシューマー・ヘルスケア	3,337	16.5%	11.1%	676	1.7%	708	15.4%	1,756	28.4%	197	-13.2%	
ジェネリック医薬品	1,805	16.2%	11.1%	533	-4.3%	123	-31.3%	1,106	38.8%	43	27.8%	
医薬品	27,720	4.4%	1.7%	7,147	-0.1%	8,270	5.6%	9,462	11.1%	2,841	-6.9%	
ポリオ・百日咳ワクチン	1,154	1.9%	0.5%	24	-31.4%	411	46.9%	581	-8.1%	138	-22.7%	
インフルエンザワクチン	1,178	25.2%	26.8%	93	12.0%	694	25.7%	368	28.5%	23	18.2%	
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	455	-7.5%	-8.3%	3	-40.0%	361	2.3%	84	-32.6%	7	0.0%	
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	398	2.0%	1.8%	59	-1.7%	276	2.6%	49	4.2%	14	0.0%	
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	377	1.6%	-1.3%	21	16.7%	95	-2.1%	211	1.4%	50	3.8%	
その他のワクチン	412	9.7%	11.4%	4	33.3%	393	11.8%	8	-27.3%	7	-33.3%	
ワクチン	3,974	7.2%	6.9%	204	0.0%	2,230	17.1%	1,301	-0.7%	239	-13.7%	
ファイブニル製品	597	-0.2%	-2.3%	181	1.1%	272	-4.5%	104	12.1%	40	-4.3%	
Nexgard(ネクスガード)	113	-	-	9	-	98	-	1	-	5	-	
ワクチン	720	1.2%	-1.0%	185	1.1%	155	2.0%	361	0.8%	19	5.3%	
アベルメクテン製品	398	-1.7%	-3.6%	55	-6.9%	225	0.9%	56	1.7%	62	-8.5%	
その他	248	8.1%	6.0%	84	0.0%	89	7.4%	62	21.8%	13	7.7%	
動物用医薬品	2,076	6.7%	4.6%	514	1.8%	839	13.0%	584	4.9%	139	-1.3%	
グループ合計	33,770	4.9%	2.5%	7,865	0.0%	11,339	8.2%	11,347	9.3%	3,219	-7.2%	

付録 2: 事業純利益計算書

2014 年度第 4 四半期	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	(単位:100 万ユーロ)	Q4 2014	Q4 2013* 前年度比	Q4 2014	Q4 2013* 前年度比	Q4 2014	Q4 2013* 前年度比	Q4 2014	Q4 2013* 前年度比	Q4 2014	Q4 2013* 前年度比	Q4 2014	Q4 2013*	
純売上高	9,072	8,457	7.3%	7,388	7,054	4.7%	1,177	959	22.7%	507	444	14.2%	-	-
その他収益	98	88	11.4%	77	71	8.5%	10	9	11.1%	11	8	37.5%	-	-
売上原価	(3,041)	(2,898)	4.9%	(2,200)	(2,211)	(0.5%)	(619)	(501)	23.6%	(222)	(186)	19.4%	-	-
純売上高に占める割合	(33.5%)	(34.3%)		(29.8%)	(31.3%)		(52.5%)	(52.2%)		(43.8%)	(41.9%)			
売上総利益	6,129	5,647	8.5%	5,265	4,914	7.1%	568	467	21.6%	296	266	11.3%	-	-
純売上高に占める割合	67.6%	66.8%		71.3%	69.7%		48.3%	48.7%		58.4%	59.9%			
研究開発費	(1,351)	(1,246)	8.4%	(1,162)	(1,068)	8.8%	(142)	(136)	4.4%	(47)	(42)	11.9%	-	-
純売上高に占める割合	(14.9%)	(14.7%)		(15.7%)	(15.1%)		(12.1%)	(14.2%)		(9.3%)	(9.5%)			
販売費および一般管理費	(2,465)	(2,145)	14.9%	(2,112)	(1,855)	13.9%	(173)	(133)	30.1%	(177)	(157)	12.7%	(3)	-
純売上高に占める割合	(27.2%)	(25.4%)		(28.6%)	(26.3%)		(14.7%)	(13.9%)		(34.9%)	(35.4%)			
その他の当期営業損益	96	252		118	259		(1)	(3)		2	1		(23)	(5)
関連会社**および合弁会社持分利益	65	26		51	18		13	9		1	(1)		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(31)	(40)		(30)	(39)		-	-		(1)	(1)		-	-
事業営業利益	2,443	2,494	(2.0%)	2,130	2,229	(4.4%)	265	204	29.9%	74	66	12.1%	(26)	(5)
純売上高に占める割合	26.9%	29.5%		28.8%	31.6%		22.5%	21.3%		14.6%	14.9%			
財務収益(費用)	(138)	(103)												
法人税	(477)	(577)												
法人税率***	21.0%	24.0%												
事業純利益	1,828	1,814	0.8%											
純売上高に占める割合	20.1%	21.4%												
1 株当たり事業純利益**** (単位:ユーロ)	1.39	1.37	1.5%											

* IFRIC 21 への移行の影響を含む

** 税控除後

*** 税引前事業利益、関連会社、非支配株主に帰属する純利益に基づいて算出

**** 2014 年度第 4 四半期の 13 億 1,580 万株、前年同期の 13 億 2,110 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

2014年度通年	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	(単位:100万ユーロ)	2014	2013* 前年度比	2014	2013* 前年度比	2014	2013* 前年度比	2014	2013* 前年度比	2014	2013* 前年度比	2014	2013*	
純売上高	33,770	32,951	2.5%	27,720	27,250	1.7%	3,974	3,716	6.9%	2,076	1,985	4.6%	-	-
その他収益	339	355	(4.5%)	272	295	(7.8%)	33	30	10.0%	34	30	13.3%	-	-
売上原価	(11,029)	(10,983)	0.4%	(8,282)	(8,518)	(2.8%)	(1,948)	(1,776)	9.7%	(799)	(689)	16.0%	-	-
純売上高に占める割合	(32.7%)	(33.4%)		(29.9%)	(31.3%)		(49.0%)	(47.8%)		(38.4%)	(34.7%)			
売上総利益	23,080	22,323	3.4%	19,710	19,027	3.6%	2,059	1,970	4.5%	1,311	1,326	(1.1%)	-	-
純売上高に占める割合	68.3%	67.7%		71.1%	69.8%		51.8%	53.0%		63.2%	66.8%			
研究開発費	(4,824)	(4,770)	1.1%	(4,174)	(4,087)	2.1%	(493)	(518)	(4.8%)	(157)	(165)	(4.8%)	-	-
純売上高に占める割合	(14.3%)	(14.5%)		(15.1%)	(15.0%)		(12.4%)	(13.9%)		(7.6%)	(8.3%)			
販売費および一般管理費	(8,991)	(8,603)	4.5%	(7,692)	(7,362)	4.5%	(614)	(588)	4.4%	(682)	(653)	4.4%	(3)	-
純売上高に占める割合	(26.6%)	(26.1%)		(27.7%)	(27.0%)		(15.5%)	(15.8%)		(32.9%)	(32.9%)			
その他の当期営業損益	164	450		194	422		2	3		20	(1)		(52)	26
関連会社**および合弁会社持分利益	147	85		106	48		40	41		1	(4)		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(127)	(162)		(126)	(162)		-	1		(1)	(1)		-	-
事業営業利益	9,449	9,323	1.4%	8,018	7,886	1.7%	994	909	9.4%	492	502	(2.0%)	(55)	26
純売上高に占める割合	28.0%	28.3%		28.9%	28.9%		25.0%	24.5%		23.7%	25.3%			
財務収益(費用)	(447)	(503)												
法人税	(2,155)	(2,134)												
法人税率***	24.0%	24.0%												
事業純利益	6,847	6,686	2.4%											
純売上高に占める割合	20.3%	20.3%												
1株当たり事業純利益**** (単位:ユーロ)	5.20	5.05	3.0%											

* IFRIC 21 への移行の影響を含む

** 税控除後

*** 税引前事業利益、関連会社、非支配株主に帰属する純利益に基づいて算出

**** 2014年度通年の13億1,580万株、前年度通年の13億2,310万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期	2013 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	1,828	1,814	0.8%
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(620)	(682)	
無形固定資産の減損	135	(919)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(126)	499	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	(1)	
事業再編費用	(113)	(70)	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽³⁾	-	-	
上記項目の税効果:	311	442	
無形固定資産の償却	89	216	
無形固定資産の減損	(57)	338	
偶発対価債務の公正価値での再評価	235	(128)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	-	
事業再編費用	44	16	
その他の税目	-	-	
上記の非支配持分帰属分	4	1	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(80)	(24)	
当社株主に帰属する純利益	1,339	1,060	26.3%
連結 1 株当たり純利益⁽⁴⁾ (単位:ユーロ)	1.02	0.80	

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2014 年度第 4 四半期は 5 億 6,300 万ユーロ、前年同期は 6 億 5,700 万ユーロとなった

(3) 負債認識の時期を変更し、2014 年の一回限りの「二重」経費につながる 2014 年 7 月に公布された最終 IRS 規則以降の 2013 年度売上高に関連する年間経費

(4) 2014 年度第 4 四半期の 13 億 1,580 万株、前年同期の 13 億 2,110 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

事業純利益から連結純利益への調整については、12 ページを参照

(単位:100万ユーロ)	2014年度 通年	2013年度 通年 ⁽¹⁾	前年度比
事業純利益	6,847	6,686	2.4%
無形固定資産の償却 ⁽²⁾	(2,482)	(2,914)	
無形固定資産の減損	26	(1,387)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(303)	314	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	(8)	
事業再編費用	(411)	(300)	
その他の損益および訴訟費用 ⁽³⁾	35	-	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽⁴⁾	(116)	-	
上記項目の税効果:	1,094	1,480	
無形固定資産の償却	728	939	
無形固定資産の減損	(18)	527	
偶発対価債務の公正価値での再評価	254	(85)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	2	
その他の損益および訴訟費用	(13)	-	
事業再編費用	143	97	
その他の税目 ⁽⁵⁾	(110)	(109)	
上記の非支配持分帰属分	8	4	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(198)	(50)	
当社株主に帰属する純利益	4,390	3,716	18.1%
連結1株当たり純利益⁽⁶⁾(単位:ユーロ)	3.34	2.81	

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2014年度通年は23億6,100万ユーロ、前年同期は28億400万ユーロとなった

(3) 業績には、Alnylam 社持分の初日利益が表示されている

(4) 負債認識の時期を変更し、2014年の一回限りの「二重」経費につながる2014年7月に公布された最終IRS規則以降の2013年度売上高に関連する年間経費

(5) 当社株主に支払った配当に対する課税

(6) 2014年度通年の13億1,580万株、前年度通年の13億2,310万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期	2013 年度 第 4 四半期 ⁽¹⁾	2014 年度 通年	2013 年度 通年 ⁽¹⁾
純売上高	9,072	8,457	33,770	32,951
その他収益	98	88	339	355
売上原価	(3,041)	(2,899)	(11,029)	(10,991)
売上総利益	6,129	5,646	23,080	22,315
研究開発費	(1,351)	(1,246)	(4,824)	(4,770)
販売費および一般管理費	(2,465)	(2,145)	(9,107)	(8,603)
その他の当期営業収益	164	288	327	691
その他の当期営業費用	(68)	(36)	(163)	(241)
無形固定資産の償却	(620)	(682)	(2,482)	(2,914)
無形固定資産の減損	135	(919)	26	(1,387)
偶発対価債務の公正価値での再評価	(126)	499	(303)	314
事業再編費用	(113)	(70)	(411)	(300)
営業利益	1,685	1,335	6,143	5,105
財務費用	(159)	(154)	(605)	(612)
財務収益	21	51	193	109
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,547	1,232	5,731	4,602
法人税 ⁽²⁾	(166)	(135)	(1,171)	(763)
関連会社および合弁会社持分利益	(15)	2	(51)	35
純利益	1,366	1,099	4,509	3,874
非支配株主に帰属する純利益	27	39	119	158
当社株主に帰属する純利益	1,339	1,060	4,390	3,716
期中平均発行済み株式数 (単位: 100 万株)	1,315.8	1,321.1	1,315.8	1,323.1
1 株当たり純利益 (単位: ユーロ)	1.02	0.80	3.34	2.81

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 2014 年度には、当社株主に支払った配当に対する課税を含め、前年同期の 1 億 900 万ユーロに対し、1 億 1,000 万ユーロとなった

付録 5: 純負債の変動

(単位:100 万ユーロ)	2014 年度 通年	2013 年度 通年 ⁽¹⁾
事業純利益	6,847	6,686
有形固定資産およびソフトウェアの減価償却、償却、および減損	1,230	1,211
非流動資産の純売却損益(税控除後)	(205)	(261)
その他の非現金項目	(389)	(106)
運転資本変動前の営業キャッシュフロー⁽²⁾	7,483	7,530
運転資本変動 ⁽²⁾	988	125
有形固定資産およびソフトウェアの取得	(1,223)	(1,198)
フリーキャッシュフロー⁽²⁾	7,248	6,457
ソフトウェアを除く無形固定資産の取得	(334)	(200)
投資株式の取得(引受債務込み) ⁽²⁾	(2,292)	(319)
支払い済みの事業再編費用	(774)	(659)
有形固定資産、無形固定資産、およびその他の非流動資産の処分益(税控除後)	252	368
サノフィ株式の発行	680	1,004
当社株主に支払った配当	(3,676)	(3,638)
自社株買い戻し	(1,801)	(1,641)
自己株式の処分(税控除後)	1	2
非支配持分との取引(配当を含む)	(8)	(52)
為替変動の影響	(525)	355
その他項目	101	(1)
純負債の変動	(1,128)	1,676

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

(2) 事業再編費用を除く

付録 6: 簡易連結貸借対照表

資産の部 (単位:100 万ユーロ)	2014 年 12 月 31 日 現在	2013 年 12 月 31 日 現在 ⁽¹⁾	負債・資本の部 (単位:100 万ユーロ)	2014 年 12 月 31 日 現在	2013 年 12 月 31 日 現在 ⁽¹⁾
有形固定資産	10,396	10,182	当社株主に帰属する持分	56,120	56,904
無形資産(営業権を含む)	53,740	52,529	非支配株主に帰属する持分	148	129
非流動金融資産、関連会社株式、繰延税金資産	9,819	9,418	資本合計	56,268	57,033
			長期債務	13,276	10,414
			合併や非支配持分に関連した固定負債	1,133	884
固定資産	73,955	72,129	引当金およびその他の固定負債	9,578	8,735
			繰延税金	4,105	5,060
在庫額、売掛金、およびその他の流動資産	16,086	15,655	固定負債	28,092	25,093
現金および現金同等物	7,341	8,257	買掛金およびその他の流動負債	11,363	9,728
			合併や非支配持分に関連した流動負債	131	24
			短期借入金および1年以内返済長期負債	1,538	4,176
流動資産	23,427	23,912	流動負債	13,032	13,928
売却または交換するために保留している資産	10	14	売却または交換するために保留している資産に関連する負債	-	1
資産合計	97,392	96,055	負債・資本合計	97,392	96,055

(1) IFRIC 21 への移行の影響を含む

付録 7: 2015 年の為替感度

2015年の1株当たり事業純利益の為替感度

通貨	対ユーロでの変動	事業純利益の為替感度
米ドル	-0.05	+0.10
日本円	+5	-0.03
ロシア・ルーブル	+10	-0.06

2014年度第4四半期および2014年度通年売上高に対する通貨変動リスク

通貨	2014 年度 第 4 四半期	2014 年度 通年
米ドル	35.6%	34.4%
ユーロ	23.1%	24.5%
日本円	5.7%	6.0%
ブラジル・レアル	3.5%	3.7%
中国元	4.8%	4.5%
ロシア・ルーブル	2.1%	2.3%
英ポンド	2.1%	2.1%
メキシコ・ペソ	2.4%	1.9%
カナダ・ドル	1.6%	1.5%
オーストラリア・ドル	1.4%	1.5%
その他	17.7%	17.6%

平均為替レート

	2013 年度 第 4 四半期	2014 年度 第 4 四半期	前年度比	2013 年度 通年	2014 年度 通年	前年度比
ユーロ/ドル	1.36	1.25	-8.2%	1.33	1.33	+0.1%
ユーロ/円	136.66	142.98	+4.6%	129.66	140.38	+8.3%
ユーロ/レアル	3.10	3.18	+2.8%	2.87	3.12	+8.9%
ユーロ/ルーブル	44.32	59.93	+35.2%	42.32	51.01	+20.5%

付録 8: 研究開発パイプライン

申請中

<p>Toujeo® (U300) インスリン グラルギン 1 型・2 型糖尿病、米国、EU</p>	N	<p>デング熱 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン</p>
<p>Praluent™ (一般名: alirocumab) 抗 PCSK-9 モノクローナル抗体 高コレステロール血症、米国、EU</p>	N	<p>PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国、EU</p>
		<p>Quadracel® ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオワクチン 4~6 歳用</p>

第 III 相

<p>LixiLan リキシセナチド+ インスリン グラルギン 固定比率合剤/2 型糖尿病</p>		<p>Patisiran (ALN-TTR02) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー</p>	N	<p>クロストリジウム・ディフィシル トキシノイドワクチン</p>
<p>Lyxumia® (リキスミア) (一般名: リキシセナチド) GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国</p>	N	<p>revusiran (ALN-TTRsc) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイド心筋症</p>	N	<p>ロタウイルス 経口弱毒化 4 価生ロタウイルスワクチン</p>
<p>SAR342434 インスリンリスプロ 1 型・2 型糖尿病</p>	N	<p>Kynamro® (一般名: mipomersen) アポリポタンパク B-100 アンチセンス 重度の家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体 米国</p>		<p>VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン</p>
<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル 抗体関節リウマチ</p>	N	<p>ジェブタナ® (一般名: カバジタキセル) 転移性前立腺がん (一次療法)</p>		
<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎</p>	N	<p>SYNVISC-ONE® 医療機器 変形性関節炎による腰痛</p>		

第II相

<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎 喘息、鼻ポリープ 好酸球性食道炎</p>	<p>SAR391786 GDF8 モノクローナル抗体 サルコペニア</p>	<p>GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病</p>
<p>vatelizumab 抗 VLA 2 モノクローナル抗体 多発性硬化症</p>	<p>SAR650984 抗 CD38 モノクローナル抗体 多発性骨髄腫</p>	<p>狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン</p>
<p>SAR156597 IL4/IL13 モノクローナル抗体 特発性肺線維症 (IPF)</p>	<p>SAR3419 メイトンシン搭載抗 CD19 モノクローナル抗体 難治性/再発性 B 細胞性悪性腫瘍</p>	<p>髄膜炎菌 (4 価 ACYW) 結合型ワクチン 第 2 世代の髄膜炎菌結合型乳幼児用ワクチン</p>
<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎</p>	<p>併用療法 SAR245409 (XL765) / MSC1936369B PI3K および mTOR を阻害する経口二重阻害剤/ pimasertib 卵巣がん</p>	<p>結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン</p>
<p>fresolimumab TGFβ 拮抗剤 巣状分節性糸球体硬化症</p>	<p>併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬 マラリア</p>	

第I相

<p>SAR405838 (MI-773) HDM2 / p53 拮抗剤 固形がん</p>	<p>GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症</p>	<p>GZ402663 (sFLT-01) 遺伝子療法 加齢黄斑変性症 (AMD)</p>
<p>SAR566658 メイトンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん</p>	<p>SAR113244 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)</p>	<p>StarGen[®] 遺伝子療法 シュタルガルト病</p>
<p>SAR125844 C-MET キナーゼ阻害剤 固形がん</p>	<p>SAR252067 抗 LIGHT モノクローナル抗体 クローン病</p>	<p>UshStat[®] 遺伝子療法 アッシュヤー症候群 1B</p>
<p>SAR245408 (XL147) 経口 PI3K 阻害剤 固形がん</p>	<p>SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病</p>	<p>肺炎連鎖球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン</p>
<p>併用療法 SAR405838 / MSC1936369B 固形がん</p>	<p>SAR425899 GLP-1 / GCGR 作動薬 糖尿病</p>	<p>単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン</p>
<p>SAR408701 抗 CEACAM5 ADC 固形がん</p>	<p>GZ402665 (rhASM) ニーマンピック病 B 型</p>	
	<p>GZ402666 Neo GAA ポンペ病</p>	

N: 新規分子化合物

付録 9: 2015 年度に見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
デング熱ワクチン	流行国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 上半期
Quadracel [®]	米国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 1 四半期
Toujeo [®] (U300)	糖尿病に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 1 四半期
Toujeo [®] (U300)	糖尿病に関する EU の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 2 四半期
Lyxumia [®] (リクスマリア) (一般名: リキシセナチド)	ELIXA CV アウトカム試験の重要な結果(見込み)	2015 年度 第 2 四半期
Dupilumab	喘息における第 III 相試験の開始(見込み)	2015 年度 第 2 四半期
Praluent [™] (一般名: alirocumab)	高コレステロール血症に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
PR5i (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	米国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
LixiLan	糖尿病における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
Lyxumia [®] (リクスマリア) (一般名: リキシセナチド)	糖尿病に関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
Dupilumab	鼻ポリープにおける第 III 相試験の開始(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
Sarilumab	関節リウマチにおける第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2015 年度 下半期
Vaxigrip [®] QIV IM (3 歳以上)	EU での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
デング熱ワクチン	流行国での規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
LixiLan	糖尿病に関する米国および EU での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
Sarilumab	関節リウマチに関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期

付録 10: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

純売上高 (為替レート変動の影響を除く)

「純売上高 (為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高を再計算することによって、排除されます。

2014 年度第 4 四半期および 2014 年度通年の純売上高 (調整前) から純売上高 (為替レート変動の影響を除く) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2014 年度 第 4 四半期	2014 年度 通年
純売上高	9,072	33,770
為替レートの影響	-229	792
純売上高 (為替レート変動の影響を除く)	8,843	34,562

純売上高 (グループ構成の変動要因を除く)

以下のとおり、前期の純売上高を修正することにより、グループ構成の変動の影響が排除されます。

- 買収の影響は、買収の対象となった企業から提供された売上高に関する情報に基づき、現在の期間 (企業または製品の権利が取得された期間) に相当する、買収された企業または製品の前期部分の売上高を含めることによって、排除されます。
- 同様に、企業または製品の権利を売却した場合には、該当する前年同期部分の売上高が排除されます。
- 連結方式の変更については、現在の期間に使用された方式に基づいて、前期部分が再計算されます。

事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を発表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響 (関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾
- その他の損益 (非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税 (3%)

さらに、事業純利益は、2014 年 7 月に公布された年間ブランド処方薬料に関連する米国最終 IRS 規則を受けて、セグメントの実績に関係なく、2014 年度に損益計算書の販売費および一般管理費に計上される 1 回限りの追加年間経費によって調整されました。

(1) 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において7つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2013 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。